

平成30年5月28日

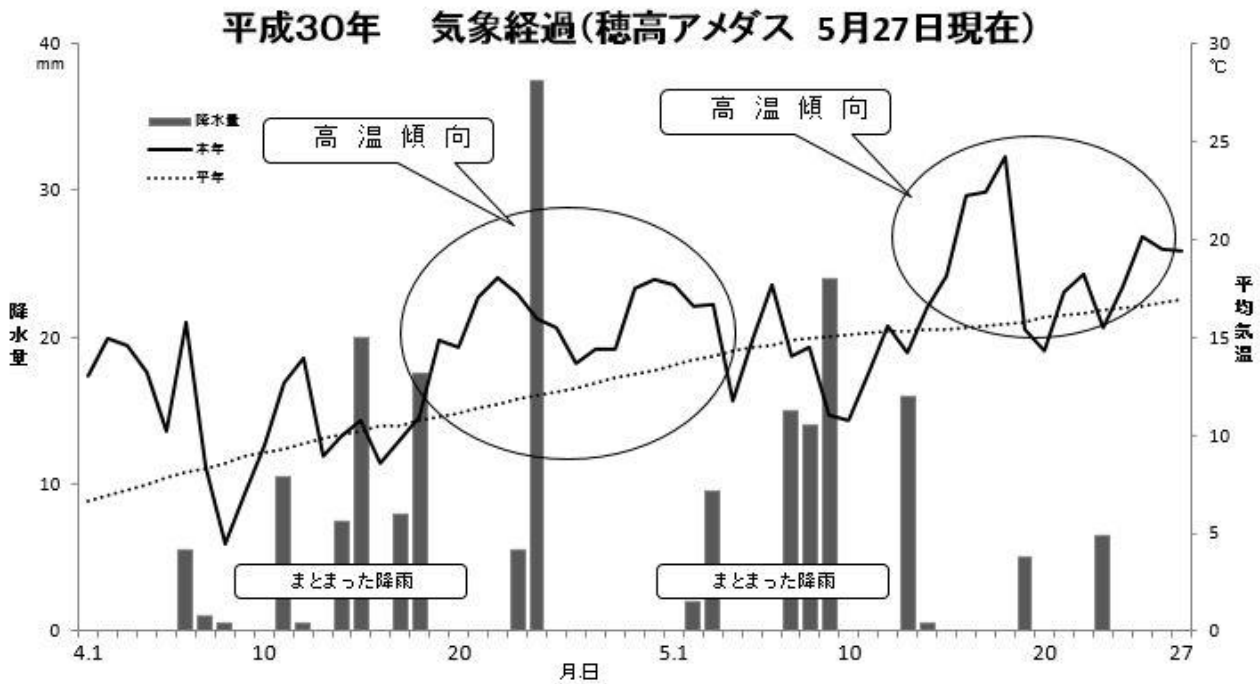
農業協同組合米穀生産指導担当者様
全農長野生産事業部米穀課担当者様
全農長野中信事業所生産販売課米穀担当者様
関東農政局長野支局松本地域センター担当者様
長野県農業共済組合中信地域センター
松塩筑支所、安曇野支所担当者様

松本農業改良普及センター技術係作物担当

平成30年 作物技術普及情報 第6号

(麦の生育状況・赤かび病防除・水田管理について)

(5枚 送付)



1 麦の生育状況について

○5月25日現在、島内品種試験圃(11月9日播種)の生育状況は、次のとおりです。

【大麦】

ファイバースノウ	現在	登熟後期		
	出穂期	4月30日	平年	4月30日(平年並)
ホワイトファイバー	現在	登熟後期		
	出穂期	5月1日		

【小麦】

シラネコムギ	現在 登熟期			
	出穂期	5月10日	平年5月7日	(3日遅い)
ゆめきらり	現在 登熟中期			
	出穂期	5月6日	平年5月7日	(1日早い)
しゅんよう	現在 登熟期			
	出穂期	5月10日	平年5月7日	(3日遅い)
ゆめかおり	現在 登熟期			
	出穂期	5月12日	平年5月6日	(6日遅い)
	※H30年「ゆめかおり」は出芽不良で参考値			

○現地における出穂状況は次のとおりです。

【大麦】 登熟後期（芒が黄化始め）

出穂始 4月26日頃～ 出穂期 4月28～4月30日頃～ 出穂揃 5月2日頃

【小麦】 登熟中期

出穂始 5月3日頃～ 出穂期 5月6日～5月9日頃

～ 出穂揃 5月12日頃

以上から、生育の中庸な圃場の現在の生育ステージは

大麦 登熟後期、小麦 登熟中期

生育進度は、大麦は平年並、小麦は平年並みとされます。

(2) 麦の成熟状況について

○島内品種試験圃における過去の成熟期と、登熟積算気温からの大・小麦の成熟期の推定をお送りしますので、RC等施設稼働や収穫時期の目安にご活用ください。

○出穂後の気温は平年より2～8℃高めに推移しています。大麦は6月6日頃から、小麦は6月23日頃から成熟期を迎えると思われませんが、成熟期は今後の気象状況などで前後します。

登熟期間中に気温が高く、降雨の少ない状況が続くと、予想より成熟が早まる可能性があります。湿害、寒害、干ばつを受けて根の生育の劣る圃場、播種遅れ等で生育が不足している圃場、極端なやせ地ではご注意ください。

松本農業改良普及センターのホームページに掲載した適期収穫チャートなどを参考に、圃場での成熟状況を確認し適期収穫をお願いします。

○「ゆめきらり」、「ゆめかおり」は穂の色が白い品種なので、成熟期になっても、穂の色は褐色になりませんので、この点ご注意ください。
刈り遅れると穂が黒ずみ、黒かび粒が発生するので、適期収穫をお願いします。

松本市島内 麦品種試験（奨励品種決定調査圃場）の歴年値

シュンライ

収穫年度	出穂期	成熟期	登熟日数	積算気温
H14	4月21日	6月8日	48	779
H15	4月30日	6月9日	40	676
H16	4月23日	6月2日	40	647
H17	4月29日	6月7日	39	629
H18	5月4日	6月12日	39	661
H19	5月1日	6月13日	43	735
H20	4月28日	6月8日	41	656
H21	4月26日	6月8日	43	686
H22	4月28日	6月8日	41	688
H23	5月3日	6月11日	39	641
H24	5月1日	6月10日	40	634
H25	5月6日	6月18日	43	810
H26	5月3日	6月12日	40	694
H27	4月28日	6月8日	41	728
H28	4月20日	5月31日	41	690
H29	4月28日	6月11日	44	736
H30	5月1日			
平年	4月28日	6月9日	41	690
平年差	3日遅			

凍霜害

ファイバースノウ

収穫年度	出穂期	成熟期	登熟日数	積算気温
H14	4月22日	6月12日	51	850
H15	5月1日	6月10日	40	685
H16	4月25日	6月10日	46	790
H17	4月30日	6月11日	42	696
H18	5月6日	6月15日	40	725
H19	5月2日	6月14日	43	739
H20	4月29日	6月9日	41	662
H21	4月29日	6月10日	42	680
H22	4月29日	6月9日	41	694
H23	5月4日	6月12日	39	647
H24	5月2日	6月11日	40	639
H25	5月8日	6月19日	42	812
H26	5月6日	6月14日	39	695
H27	4月28日	6月8日	41	728
H28	4月21日	6月2日	42	708
H29	4月30日	6月12日	43	759
H30	5月2日			
平年	4月30日	6月11日	42	717
平年差	2日遅			

凍霜害

シラネコムギ

収穫年度	出穂期	成熟期	登熟日数	積算気温
H14	5月3日	6月21日	49	869
H15	5月9日	6月27日	49	918
H16	5月3日	6月20日	48	881
H17	5月5日	6月22日	48	857
H18	5月9日	6月29日	51	950
H19	5月7日	6月25日	49	881
H20	5月5日	6月27日	53	912
H21	5月6日	6月24日	49	877
H22	5月6日	6月23日	48	885
H23	5月12日	6月28日	47	870
H24	5月9日	6月25日	47	814
H25	5月12日	6月29日	48	949
H26	5月12日	6月25日	44	830
H27	5月6日	6月20日	45	825
H28	5月1日	6月15日	45	830
H29				
H30	5月10日			
平年	5月7日	6月24日	48	877
平年差				

凍霜害

しゅんよう

収穫年度	出穂期	成熟期	登熟日数	積算気温
H15	5月10日	6月26日	47	884
H16	5月4日	6月20日	47	864
H17	5月5日	6月22日	48	857
H18	5月9日	6月29日	51	950
H19	5月7日	6月27日	51	926
H20	5月5日	6月27日	53	912
H21	5月7日	6月25日	49	886
H22	5月6日	6月24日	49	905
H23	5月12日	6月27日	46	845
H24	5月9日	6月25日	47	814
H25	5月12日	6月29日	48	949
H26	5月12日	6月25日	44	830
H27	5月6日	6月21日	46	843
H28	4月29日	6月14日	46	833
H29	5月10日	6月27日	48	937
H30	5月10日			
平年	5月7日	6月24日	48	878
平年差	3日遅			

凍霜害

ゆめかおり

収穫年度	出穂期	成熟期	登熟日数	積算気温
H19	5月7日	6月24日	48	861
H20	5月6日	6月24日	49	833
H21	5月4日	6月21日	48	838
H22	5月4日	6月21日	48	885
H23	5月11日	6月27日	47	859
H24	5月7日	6月23日	47	817
H25	5月11日	6月28日	48	944
H26	5月12日	6月25日	44	830
H27	5月4日	6月18日	45	819
H28	4月25日	6月11日	47	826
H29	5月9日	6月21日	43	832
H30	5月12日			
平年	5月6日	6月22日	47	851
平年差	6日遅			

凍霜害

ゆめきらり（東山48号）

収穫年度	出穂期	成熟期	登熟日数	積算気温
H22	5月5日	6月20日	46	786
H23	5月10日	6月26日	47	847
H24	5月8日	6月24日	47	808
H25	5月11日	6月29日	49	966
H26	5月12日	6月25日	44	830
H27	5月4日	6月19日	46	836
H28	4月28日	6月12日	45	804
H29	5月9日	6月21日	43	832
H30	5月6日			
平年	5月7日	6月22日	46	840
平年差	1日早			

凍霜害

※H30出芽不良で参考値

【参考】 登熟積算気温による大・小麦の成熟期の推定(5月28日現在)

成熟期までの積算気温を大麦は650～700℃、小麦は850～900℃として推定しています。

平均気温は穂高アメダス値です。5月27日までは本年値、以降は平年値を用いています。

月日	本 年							
	平均気温							
4月27日	10.0	大麦						
4月28日	9.6	4月28日出穂圃場						
4月29日	11.3	11	大麦					
4月30日	17.9	29	4月30日出穂圃場					
5月1日	17.7	47	18	大麦				
5月2日	16.6	64	34	5月2日出穂圃場				
5月3日	16.7	80	51	17				
5月4日	11.7	92	63	28				
5月5日	14.8	107	78	43	小麦			
5月6日	17.7	124	95	61	5月6日出穂圃場			
5月7日	14.0	138	109	75	14			
5月8日	14.5	153	124	89	29	小麦		
5月9日	11.0	164	135	100	40	5月9日出穂圃場		
5月10日	10.7	175	145	111	50	11		
5月11日	13.1	188	159	124	63	24	小麦	
5月12日	15.6	203	174	140	79	39	5月12日出穂圃場	
5月13日	14.2	218	188	154	93	54		14
5月14日	16.5	234	205	171	110	70		31
5月15日	18.1	252	223	189	128	88		49
5月16日	22.2	274	245	211	150	110		71
5月17日	22.4	297	268	233	172	133		93
5月18日	24.2	321	292	257	197	157		118
5月19日	15.4	336	307	273	212	172		133
5月20日	14.3	351	321	287	226	187		147
5月21日	17.3	368	339	304	244	204		165
5月22日	18.2	386	357	323	262	222		183
5月23日	15.5	402	372	338	277	238		198
5月24日	17.6	419	390	356	295	255		216
5月25日	20.1	439	410	376	315	275		236
5月26日	17.5	457	428	393	332	293		254
5月27日	19.4	476	447	413	352	312		273
5月28日	17.2	493	464	430	369	330		290
5月29日	17.4	511	482	447	386	347		308
5月30日	17.5	528	499	465	404	364		325
5月31日	17.7	546	517	483	422	382		343
6月1日	17.9	564	535	500	440	400		361
6月2日	18.0	582	553	518	458	418		379
6月3日	18.2	600	571	537	476	436		397
6月4日	18.3	618	589	555	494	455		415
6月5日	18.5	637	608	573	513	473		434
6月6日	18.6	成 656	626	592	531	492		452
6月7日	18.8	成 674	645	611	550	510		471
6月8日	18.9	成 693	成 664	630	569	529		490
6月9日	19.0	712	成 683	649	588	548		509
6月10日	19.1	731	成 702	成 668	607	567		528
6月11日	19.2	751	721	成 687	626	587		547
6月12日	19.4	770	741	成 706	646	606		567
6月13日	19.5	789	760	726	665	626		586
6月14日	19.6	809	780	746	685	645		606
6月15日	19.7				704	665		625
6月16日	19.8				724	685		645
6月17日	19.9				744	705		665
6月18日	20.0				764	725		685
6月19日	20.1				784	745		705
6月20日	20.2				804	765		725
6月21日	20.3				825	785		746
6月22日	20.4				845	806		766
6月23日	20.5				成 866	826		787
6月24日	20.6				成 886	847		807
6月25日	20.8				成 907	成 867		828
6月26日	20.9				928	成 888		849
6月27日	21.0				949	成 909	成	870
6月28日	21.1				970	930	成	891
6月29日	21.3				991	952	成	912
6月30日	21.4				1013	973		934

(3) 麦の赤かび病対策について

開花期から2週間の間は、感染しやすいステージです。

○大麦では5月2~3, 7~9日、小麦では5月18, 21日の開花期中に、降雨に遭遇しました。5月10日前後は低温傾向であったため、感染リスクは小さ目ですが、5月15~20日の間は気温が20℃以上に高温で経過しており、赤かび病に高い感染リスクが懸念されます。5月22日の採種圃巡回時での発生は確認されていませんが、小麦では開花後2週間にあたる6月初旬までは、注意が必要と思われるので、6月上旬には圃場を巡回し、発生有無の確認をお願いします。

2 水稻の本田初期の管理

田植え後、高温傾向で推移しています。活着は順調ですが、徒長した苗やムレ苗等で生育が弱った苗は、植傷みを受け、活着不良となりやすい状況ですので、活着促進のため水管理の徹底をお願いします。

気温が高いため、藻類・表層剥離の発生が目立ちます。除草剤による防除については「平成30年度農作物病害虫・雑草防除基準」に記載されている除草剤をご使用ください。

また、生わら等の未分解の有機物が急激に分解を始めるために、水田の土壌中が強還元状態となり酸欠により、稲が根腐れを起こす場合があります。水田内を歩いてガスがわいているようなら、10日に一度の間隔で晴天日の日中に水を払って田面を空気にさらし、ガス抜きと酸素の供給を行ってください。

水管理が不十分で除草剤の効果が低下して雑草が残ったり、再発生する場合があります。特にヒエやホタルイは葉令が進んでから気が付く場合があります。このため除草剤を処理して7日~10日後には圃場状況を確認し、残草状況によっては、中期剤や後期剤の対応をお願いします。